いのはな ハーモニー
2020.1 vol. 58

Harmony

TAKE FREE

千葉大学病院ニュース　人間の尊厳と医療の調和をめざして

COMPASS ～医の探究者～

整形外科 教授 大鳥精司

整形外科 特任准教授 折田純久

特集

災害×医療現場

千葉大学病院
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

表紙の写真
検査部 臨床検査技師
検体検査の作業
（詳細は裏表紙へ）

COMPASS
～医の探究者～
第10回

整形外科 教授
大鳥精司

整形外科 特任准教授
折田純久

整形外科医はスポーツ好きが多い!?

大鳥　医者といえばインドア派でスポーツとは無縁のイメージがあるかもしれませんが、実は整形外科医には、スポーツ経験者や愛好家が多く、学会では野球やサッカー、駅伝などのスポーツ大会が開催されるほどです。私も中学高校はラグビー部、大学ではゴルフ部に所属し、現在も毎日6キロのマラソンを日課にしています。

折田　私もこれまで、陸上やバレーボール、キックボクシングなどを経験し、よく怪我をして整形外科のお世話になったことがこの仕事に興味を持ったきっかけです。

大鳥　スポーツには怪我がつきもの。ですから、誰もが安心して安全にスポーツが行えるよう、昨年1月にスポーツメディクスセンターを当院に設置しました。

患者さんの日常を支える喜びが整形外科医の仕事のやりがい

大鳥　整形外科医が診療するのは、首から下すべて。医療分野のなかでも、症状のバリエーションの多さは随一です。たくさんの患者さんの痛みを治療しているとたくさんの患者さんの喜ぶ顔を見ることができ、それが私の喜びになっています。

折田　日本は超高齢社会を迎え、健康寿命の延伸が課題となっています。痛みを抑えるお手伝いをすることも整形外科医の大切な使命です。患者さんが自分の力で人生を楽しむために、運動機能を高めたり、日常生活からサポートできたりするのが、私にとってのやりがいです。

大鳥教授の手術の様子

医療とスポーツの連携拠点
スポーツメディクスセンター

超高齢社会を迎えて、スポーツが国民の健康に重要となっているなか、誰もが安心・安全にスポーツを行えるように支援します。具体的にスポーツイベントにおける医療スタッフの派遣など救護医療のシステム構築、マニュアルの作成を行います。

2019年1月ラグビー救護医療の講習会を行いました。

患者さんの痛みに総合的に向き合う
痛みセンター

単独の診療科では治すのが難しい難治性疼痛の患者を治療するため、定期的にカンファレンスで多診療科・多職種のチームが症例検討を行い、各診療科にフィードバックする形でオーダーメイドの痛み治療を提供しています。また、慢性疼痛患者向けのリハビリテーションについて千葉県での統一プログラムの策定などにも取り組んでいます。

プロフィール

整形外科
教授

大鳥精司（おおとりせいじ）

千葉大学医学部卒業。1994年より千葉大学病院整形外科に勤務し、2016年に教授就任。2019年より千葉大学大学院医学研究院副研究院長、千葉大学病院の浦安リハビリテーション教育センター長とスポーツメディクスセンター長、痛みセンター長を兼務。

整形外科
特任准教授

折田純久（おりたすみひさ）

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、学士入学制度第1期生として千葉大学医学部に編入。千葉大学大学院で整形外科学の博士課程修了。2012年より千葉大学病院材料部の助教、2018年より現職。

再生医療の研究やスポーツ支援で健康寿命の延伸へ

超高齢社会を迎え、「元気に生きる」を応援する整形外科の取り組みや研究について聞きました。

整形外科の分野でも再生治療の治験が始まっています

大鳥　再生医療という言葉をお聞きになったことがある方もいらっしゃると思いますが、整形外科の世界でも再生医療は最先端の研究となっています。私が取り組んでいるのは、椎間板の再生。腰痛の緩和はもちろん、骨粗鬆症や筋減少症の予防にもつながる研究なので、今後も実用化に向けて頑張りたいと思います。

折田　私は、MRIを活用した痛みの可視化に取り組んでいます。痛みが客観的に理解できるようになれば、よりきめの細かい治療が提供できるようになるのではないかと期待しています。老若男女すべての患者さんを笑顔にすることが医師としての自分の役割だと思っているので、これからも治療や研究を通して元気をサポートしていきたいと思います。

立ったままで行う整形外科のカンファレンス。集中力アップと時短効果になっています。

特集

災害×医療現場

地域の医療を支える活動

台風15号・19号で DMATが活動しました

私たちは地域の医療を守るのが使命です。定期的に訓練を重ね、各自治体との連携を強化することで、災害時でも継続して医療行為ができるように取り組んでいます。

台風15号では、千葉県内の多数の医療機関が被災。当院は千葉・市原・山武長生夷隅を支援するDMAT（ディーマット）の活動拠点本部を設置。約90医療機関の被災状況を確認し、他県から駆け付けたDMATのチームを避難所に派遣したほか、患者搬送なども行いました。

※**DMAT**（Disaster Medical Assistance Team）
災害や事故などの発生から48時間以内に活動できる専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム

救命救急センター
安部隆三 医師
（DMAT メンバー）

千葉大学病院の「備え」

受付などにある長椅子は災害時に簡易ベッドとして利用できます。

2019年9月9日の台風15号で DMATの本部として90の医療機関を支援

- 9/9 10:51 ▶院内災害対策本部立ち上げ
- 9/9 13:10 ▶千葉・市原・山武長生夷隅の活動拠点本部を設置
  - ⇒被害状況の収集・患者さんの転院搬送
  - ⇒東千葉メディカルセンターへの医師派遣
- 9/12 15:00 ▶千葉・市原・山武長生夷隅の活動拠点本部を解散
  - ▶院内災害対策本部を解散

THANK YOU

ご寄附ありがとうございました

「支援活動に役立てて」と当院で撮影協力しているドラマ「ドクターX」の制作会社様からDMATチームにベストなどの装備品をご寄附いただきました。

当院でも倒木などの被害がありました。

活動拠点本部では、被災した医療機関への支援と避難所へのDMATチームの派遣調整などを実施。

避難所生活は体調を崩しやすい！？

避難所での健康管理のポイント

- 避難所へは、お薬手帳と既往歴を持参しましょう。適切な医療行為が受けられるようになります。
- 避難所ではトイレに困ることが多いため、水分を控える方も。脱水症状になる危険があるので、こまめに水を飲みましょう。
- アルコールでの手指消毒、マスクの着用など感染症対策をしっかり行いましょう。
- 車中や避難所など狭いスペースで長時間動かずにいるとエコノミー症候群になってしまいます。定期的に体を動かしましょう。
- 避難所ではコンタクトレンズの装用は避け、メガネを着用しましょう。手洗いせず目に触ると結膜炎になる危険性があります。

救急医療チーム「COMET」

DMATの派遣基準は満たしていないが、救急医療活動が求められる場合に派遣されるチーム。コンサート会場で熱中症のような症状を訴える方が多数発生した際に出動したことも。

※COMET（コメット）：Chiba Outreach Medical Emergency Teamの略

地域との連携「大規模多数傷病者受入訓練」

多数の被災者の重症度・緊急度を即時に判断するトリアージ訓練や、搬送訓練などを毎年千葉市消防局と合同で行っています。

病院の建物自体にもいろいろな工夫があります！

外来診療棟は免震のため建物と周囲の地面の間に隙間や砂利があります。

病棟の廊下や部屋の一部には、酸素を出す口があります。

サッカー選手が入院中の子どもたちを激励！

10月2日、千葉市のフクダ電子アリーナを本拠地とするジェフユナイテッド市原・千葉の船山貴之選手が病気の子どもたちを元気づけるため、小児病棟を訪れました。

子どもたちの大きな呼びかけで颯爽と登場した船山選手に、付き添っている家族からも歓声が上がりました。公式試合で実際に使ったボールを触った子どもたちは「思ったより大きい～」「こんなに硬いんだね！」と興味津々でパスをしたり、船山選手の見事なリフティングを見たりして楽しい時間を過ごしました。

「自分もサッカーをがんばるので、みんなも早く元気になってね」と応援メッセージをいただきました！

がん患者さんやご家族の力になりたい！ピア・サポーターズサロンちばを開催

「がんピア・サポーター」をご存じですか？がん患者さんやご家族と同じ立場で悩みや不安な気持ちを聞いたり、病気や闘病生活について話したりするがん経験者やご家族のことです。

このサロンでは、患者さんやご家族の心が軽くなるよう、そして気持ちが前向きになるよう、研修を受けたがんピア・サポーターが力になります。事前の申込みは不要ですので、ご都合の良い時間にお越しください。

ピア・サポーターも交えて、みんなで話しましょう

開催日 2020年2月28日（金）10：00～15：00
場　所 千葉大学病院 患者支援センター 面談室1・2

・事前申込み不要。当日会場へ直接お越しください。
・飲食物の提供はありません（飲み物のみ持ち込み可）。
※宣伝や販売、勧誘活動はご遠慮ください。

動画でわかりやすく解説します！目薬を正しくさすコツ

患者さんに目薬を清潔で安全にさしていただきたい、との思いから、眼科の看護師と視能訓練士が中心となって動画を作成しました。

「げんこつを重ねるとさしやすい」「目薬をさした後にまばたきをしない」などコツや注意点をわかりやすく解説しています。どなたにも役立つ内容ですので、ぜひご活用ください。

YouTube
病院公式チャンネルは
こちらから

成長に合わせて適切な医療を移行期医療支援センター設立

移行期医療支援…小児期発症の病気を抱えたまま成人年齢に達した患者さんが年齢に見合った適切な医療を受けられるようにサポートを行うことです。スムーズに橋渡しできるような体制づくりを進めていきます。

移行期医療支援センターの役割

- 小児慢性特定疾病や指定難病の患者さんが成人後も適切な医療を受けられるよう対応可能な医療機関の情報を把握し、情報提供を行う。
- 小児期医療から成人期医療に至るまでの移行を近隣の医療機関と連携、連絡調整する。
- 患者さんがご自身の病気を理解し、自律（自立）して生活と治療を両立できるように、必要な支援を行う。

「心」と「技」を兼ね備えた医師を育てる

アテンディングドクター　鋪野 紀好

円滑な医療提供のため、専門職連携教育を行っています。トレーニングでは、医師だけでなく、看護師や薬剤師も関わっています。

自分の教え子たちが一人前になって、患者さんのために働く姿を見ることが最大のやりがいです。

off オフショット shot

趣味はスポーツ観戦。写真はボストンのマサチューセッツ総合病院での医療者教育の研修の余暇にレッドソックス戦を観戦したときのものです。

Q アテンディングドクターとは？

研修医や医学生の最も身近な存在として日々の学びを支え、育成を担う「教育選任教員」です。各診療科を順に回って個別指導するほか、レクチャーなども行います。研修医や医学生にとっていつでも何でも相談できる、心強い存在でいられるよう心がけています。

Q 研修医・医学生の教育で大切にしていることは？

心と技を兼ね備えた、患者中心の良質な医療を提供できる医師になってほしいと願って教育に当たっています。私も普段は総合診療医として、原因不明と言われている患者さんの診療に当たっていますので、研修医たちのロールモデルとなれるよう、日々精進しています。

Q アテンディングをしていて嬉しかったことは？

「先生のような医師になりたい」と言われると励みになります。そんな彼らも、やがて一人前の医師になります。自分の育てた研修医たちが、患者さんのために懸命に働いているのを見たときは、とても嬉しいです。

Q 患者さんに向けてメッセージを

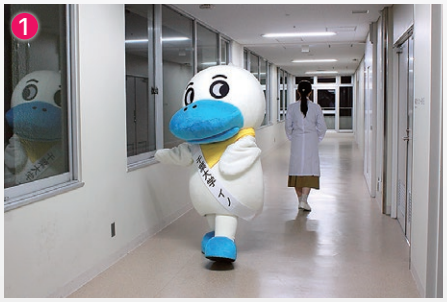
私たち医療者は、患者さんから日々、たくさんのことを学ばせていただいています。この経験を少しでも多くの患者さんに還元できるように、良質な医療を提供できる医師の輩出に努めてまいります。

いのすたぐらむ INOSTAGRAM

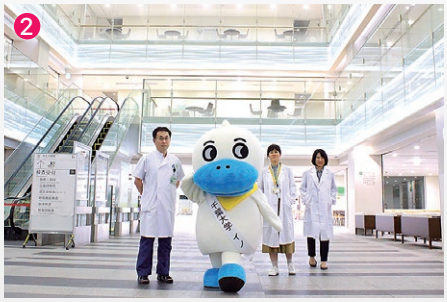
イノと行く！院内撮影スポット

これまで当院で行われたドラマ撮影スポットを千葉大学マスコット イノが紹介します！

#1：失敗しない女医が歩く「ガーネットホール前の廊下」　#2：大名行列でおなじみの「ホスピタルストリート」
#3：フリーランスの外科医と病院長がしばしば対決する「渡り廊下」



1

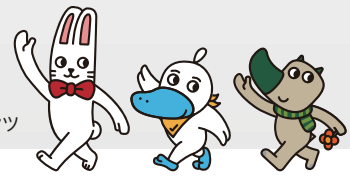


2

3

千葉大学マスコット「ニシ」「イノ」「マツ」

70周年を迎えた千葉大学に誕生したマスコット、うさぎの「ニシ」、かもめの「イノ」、さいの「マツ」。それぞれのマスコットの顔は3つのキャンパスの形をしています。



（左から）ニシ、イノ、マツ

Harmony ハーモニーレシピ Recipe

災害時に活躍！ポリ袋で簡単調理

鶏肉とひじきの炊き込みごはん

最近、自宅に備蓄している食材を災害時に活用する「ローリングストック法」が普及しています。今回ご紹介するのは、備蓄食材を使って災害時でも簡単に作ることができるレシピです。幼児期以降のお子さまからお年寄りまで食べられるやわらかさです。

材料（2人分）

- 無洗米　1合（180g）
- 水　1カップ（200ml）
- 焼き鳥缶　1缶（汁ごと）
- 乾燥ひじき　大さじ1と1/2（5g）
- めんつゆ　小さじ2（12g）

調理器具　カセットコンロ、鍋、高密度記載のあるポリ袋、耐熱皿、使い捨て食器

つくり方

1. ポリ袋にすべての材料を入れ、空気を抜き、袋の口をねじりあげながら上部をかたく結ぶ。
2. 鍋底に耐熱皿を敷き、鍋の3分の1までの水と**1**を入れ、ふたをする。強火にかけ、沸騰したら中火で25～30分ほど炊く。火を止め、そのまま10分ほど蒸らす。
3. 器へポリ袋をかぶせて**2**を盛付ける。

管理栄養士からのひとこと

ポリ袋が溶けるのを防ぐため、高密度または湯煎可の記載があるものを用い、鍋底に皿をしきましょう。なるべく空気を抜いて、袋の膨張を防ぐのがポイントです。

臨床栄養部　和田咲希

参考栄養価（1人分）

- エネルギー：392kcal
- たんぱく質：10.5g
- 脂質：4.7g
- 糖質：74.4g
- 食物繊維：1.6g
- 塩分：0.8g

※ご病気の種類によっては、お勧めできない場合があります。お食事や栄養についてお困りの場合は、主治医にご相談のうえ管理栄養士による栄養相談を受診してください。

表紙の人

検査部
臨床検査技師　阿部 友香

私は、入職1年目の臨床検査技師です。血液中の赤血球や白血球などの細胞の数や形を調べる検査を担当しています。精確な検査結果を少しでも早く報告できるように、日々勉強中です。採血業務では、患者さんになるべく負担がかからないよう心がけています。

あなたの思いを、先進医療に役立てます

病院寄附金のご案内

千葉大学病院では、これからも高度で安心・安全な医療を提供するために、広く寄附金を受け入れています。皆さまからの寄附金は、最新医療機器の購入や研究開発、医療スタッフの育成に活用させていただきます。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ハイブリットORシステム
心臓手術などに使う設備で、皆さまからの寄附金が役立っています。

ご寄附ありがとうございます！
樋口 明さま　**松本 眞弓**さま　ほか

研究推進課 寄附金担当
043-226-2729（直通）

お申し込み方法はこちらから

千葉大学病院からのお知らせ

道路拡幅工事につき大変ご迷惑をおかけしております

現在、千葉大学亥鼻キャンパス南側（バス通り側）でよう壁の建築を行っています。工事完了後は歩道が整備され、より安全に快適に通行していただけます。この工事の完成は2020年3月の予定です。

医学部前バス通り完成予想図

いのはなハーモニー
2020.1 vol.58

［発行日］2020年1月15日
［発　行］千葉大学医学部附属病院　〒260-8677　千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL. 043-222-7171（代表）　https://www.ho.chiba-u.ac.jp/　※ホームページでバックナンバーがご覧いただけます
感想をお寄せください！　病院広報室　✉byoin-koho@chiba-u.jp